

2023
March

Vol. 28

BUDOU
ぶどう

- Alumnae association bulletin - 2023

私はぶどうの木、
あなたがたはその枝である

*I am the vine. You are the branches. He who remains in me, and I in him,
bears much fruit. For apart from me you can do nothing.*

I am the vine, you are the branches.
John 15:5



福岡女学院同窓会会報

新会長挨拶



新同窓会会長
野田 幸子
(1979(S54)年高卒)

2022年5月より同窓会会長に就任いたしました野田幸子と申します。

福岡女学院高校を卒業した後、東京で35年間暮らし、福岡に戻り間もなくして同窓会に関わることとなりました。その時は、少しでも母校の為に役に立てればという軽い気持ちでしたが、その数年後には会長の職に着くという責任ある立場となりました。私は何かをし始める時に、何の為にするのか、という事を必ず考えます。それは、137年という歴史を持つ母校が、現代社会に融合し、今を生きる人々のニーズに応えること、ということでした。

現状は、時代からかなり遅れたものを感じましたが、同窓会に関わっている卒業生や学生たちと接していると、豊かな質と可能性を秘めた力をもっているのを感じました。

ワインで例えると、高品質のヴァインテジワインを、飾って見ているといった感じです。そしてそのヴァインテジワインを、今のライフスタイルに合わせてボトルに入れ、楽しく分

かち合うことが大切だと思いました。

今年からは、中高校舎の建て替えが始まります。最新のIT環境、アクティブラーニングの学習法が随所で行える環境が用意されていきます。

同窓会でも、古き良きものを大切にしながら、合理的なものを活用して、心豊かな繋がりをもつコミュニケーションとして発展していこうと考えています。

それは、卒業後どこに住んでいても、女学院の卒業生というだけで、支え合って行けるファミリーのようなコミュニケーションを、SNSやオンラインを通じてのコミュニケーションも利用しながら、発展させていこうと計画しております。

そしてこれらを実現させることで、学生たちに最善の教育を提供する学院と、卒業した後も支え合っていく豊かなコミュニケーション(同窓会)を創っていくという両輪により最善に働きかけていきます。

総会での私の所信表明でも申し上げましたが、いつも笑顔で、常にお互いに尊重しあい、全体がひとつとなって進めま

前会長挨拶



前同窓会会長
飛田 恵子
(1967(S42)年高卒)

主の御名を讃美いたします。

2022年5月の定期総会で、無事に4年間の会長の任期を終える事が出来ました。暖かく見守ってくださいました会員の皆様に感謝申し上げます。

残念な事に、この期間はコロナの影響で、総会を始め色々な行事が出来なかつたり、リモートでの開催となりました。

しかし、2021年度の総会はwebや書面で参加していただく書面審議でしたが、コロナ前の対面開催の総会参加者の10倍ともいえる、過去最高の1119名の方々に総会プログラムを見て頂き、審議に参加していただくことができました。この事は、これからの同窓会活動では、離れていても参加出来る、という希望を持つ事ができました。ありがとうございました。

福岡女学院では、日佐の地に校舎を移した当時からの中・高・高専校舎の建て替えが始まっております。

同窓会役員は、未だ中学高校出身者が多いですが、率先して校舎建て替えに伴う寄付活動を行っております。どうぞ、皆様も後輩達が近代的な学舎で学校生活が送れます様に、ご協力をお願い致します。

同窓会では、卒後50年に卒業生を学院にご招待しております。(コロナで、3年間休止になってしまいました)が旧約聖書レビ記25章8〜12節の中にも、50年目の年はあなたがたにとってヨベルの年である。とあり、これは聖なる故郷に戻る、という言葉があります。

どうぞ、皆様も今後新しくなった校舎に戻って、学生時代を懐かしく思い出してくださいませ様に、お願い致します。

皆様のご協力により、無事に会長の任期を終えました感謝とお礼を申し上げますと共に、同窓会ますますの盛会と、福岡女学院の発展をお祈りいたします。

福岡女学院 同窓会
創立138周年 **ホームカミング&バザー**

2023年5月20日(土) 10:00 - 15:00

懐かしい先生方やお友達と楽しいティータイムを過ごしませんか?

メイポールダンス終了後、同窓会集会室にてお茶とお菓子を準備してお待ちしています。同窓生による手作りのバザーやミッショングッズも販売いたします。



卒後25年同窓会のご案内

創立記念日に卒後25年の同窓会開催の支援をしています。今年には1998(平成10)年高卒の方々です。お子様同伴も大歓迎です。お誘いあわせのうえ、お越しください。

日 2023年5月20日(土)
時 * 詳細は別途ご案内いたします。

同窓会サポーター募集!

同窓会活動のお手伝いをしてくださる「サポーター」を募集しています。女学校・中・高・短大・大学・大学院・看護大すべての卒業生が対象です。サポーターとしてご登録いただける方は、同窓会事務局までご連絡ください。ご協力をよろしくお願いいたします!

同窓会の
Instagram
Facebook
随時更新中!



＼ご登録よろしくお願ひいたします!／

福岡女学院同窓会公式LINEアカウント開設!

同窓会からのお知らせ、イベントのご案内、学院の話題など、様々な情報をいち早くお届けいたします。

友だち追加をお願いします!

LINE「友だち追加」画面から、ID検索またはQRコードを読み込んでご登録ください。



デジタル配信の申し込みをお受けします!

同窓会では印刷物のデジタル化を目指しております。デジタルでの受け取りをご希望の方はQRコードから申し込み下さい。従来通りの紙媒体をご希望の方は、お申し込み不要です。

お問い合わせは事務局まで TEL&FAX : 092-575-2479 (平日10:00~17:00)



2022年度 総会報告

2022年5月22日福岡女学院ギール記念講堂にて同窓会総会を開催いたしました。

まだまだコロナ禍という事もあり、役員一同心配をしておりましたが当日は穏やかなお天気にも恵まれ礼拝、総会を無事に開催することができました。

全ての議案について承認をいただくことができました。

ご報告いたします。

しかしながら、会計報告におきましては、記載されている繰越金額が前年度のものとなっており、ご出席されている会員の方々

に大きな混乱を生じさせ、後日原因を追究し、訂正修正したものを、郵送させていただくという事になりました。このような不手際が生じたことを、ここに改めてご報告とお詫びを申し上げます。

また、2020年の会則改正におきましては、コロナ禍のもと、書面審議という形を取らざるを得ず、音楽科卒業生会の名称と位置付けについて、しっかりと話し合いがなされず不十分な形のみまでおりました。

そこで同窓会では一旦2019年当時の会則を、2022年度会則案として新たに提案し、総会で承認をいただきました。その後、改めて音楽科卒業生会の名称と位置付けについて、2023年度の総会においてそれを定める方向で現在話し合いを進めているところです。

上述いたしましたように、不手際や課題が露出した結果となった総会でしたが、こうした失敗を糧として成長していくと、前に向かって進んでおりますので、今後ともどうか皆様のお心寄せをいただき、ご理解ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。



創立138周年 2023年度 福岡女学院同窓会総会

場 所：福岡女学院ギール記念講堂
会 費：無料(※事前申し込みにて入場券発行)
日 時：2023年5月21日(日) 14:00～15:30
当番学年：H8年高卒・H10年短卒・H12年大卒

申込みは
こちらへ

QRコード または 同窓会事務局 まで
FAX 092-575-2479 TEL 092-575-2479
お申込み締切：4月28日(金)



※コロナウイルス感染症の状況次第で、変更の可能性もあります。ホームページ・SNSでお知らせしますのでご確認くださいませうお願い致します。

「福岡女学院はさらなる社会貢献へ向け
新たな一歩を踏み出します」



学校法人 福岡女学院 理事長
福岡女学院看護大学 学長
片野 光男

皆様、2023年、女学院はさらなる社会貢献を希求し一歩を踏み出しました。一つは、学院の要石である中高校舎の建替です。この一歩は、凛とした志の高い女子学生の成長を後押しすると信じています。ミッシヨンファミリー一丸となり成し遂げましょう。もう一つは、看護大学の大学院開校です。開学15周年を迎えた看護大学は看護教育者の養成という新たな扉を開きました。

学校教育の現場は少子化と教育環境の激変の波間に漂う小舟の感があります。学院は、教職員の意識の共感（あなたがして欲しいように、他の人にもそのようにしなさい）と実践で乗り切ろうと話し合いを重ねています。荒波を乗り越える知恵と勇気を持つことができるようお祈りください。



昨年もコロナ禍と自然災害と戦乱の脅威とに翻弄された日々でした。これらのことで私たちは神から「君たちは個人や共同体であれ、自力でやって行けるのか」と問われています。資源に限りあるわが国にとり2度と鎖国策は不可能であり、貿易の恩恵に浴さねばなりません。貿易の基礎は諸外国との信頼関係づくりです。創設者ギール先生の開校の心と、青空礼拝を守り敗戦後に『平和の礎』として尽力するよう説かれた徳永ヨシ先生の志を受け継ぎ、外国語とICT技術を駆使しつつ諸外国との「平和」を維持すべく、福岡女学院は神にお応えしながら歩み続けます。同窓会の皆さんの働きへの神の御祝福を祈りつつ。



学校法人 福岡女学院
院長 阿久戸 光晴

地域にとってもなくてはならない大学に



福岡女学院大学
福岡女学院大学短期大学部
学長 伊藤 文一

学長に就任して1年半が過ぎました。同窓会の皆様、いつもありがとうございます。

I 「星のかけら拾い隊（地域清掃活動）2年目
毎月1回（第3木曜日の朝7時45分から8時15分まで）行っています。学生、同窓会、教職員、時には、福岡女学院中学校・高等学校の皆様も参加されています。地道な活動も続けるうちに、実を結ぶこともあると信じています。

II 情報共有（学長室の窓）の発行
毎月の学長の動きを知らせることを通して、情報共有を心がけています。同窓生の皆様からも声（ご意見）をいただいています。

III 地域とつなぐ行事
中学生・高校生「夢語り」コンテスト（100名近くの応募）、文部科学省直山視学官の講演会（110名以上の来場者）、学長による講演会の実施（約300名来場）、本学の学生、教職員と一体となって実施することができました。

同窓会との連携に感謝しかありません。今後ともご支援をよろしく願います！

令和の先生

同窓会会員の皆様方には、日頃より現役生に対し、ご支援をいただきありがとうございます。本年度よりスタートしました「一人一台タブレット」の、とても素敵なタブレットカバーをプレゼントしていただき、生徒も大変喜んでいました。さて、今の中央教育審議会答申は、目指す学校教育の姿として、すべての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」をICTも活用しながら実現することを掲げています。その中核を担う私たち「教師」については「環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続け、子ども一人一人の学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する伴走者」という表現で伝えていきます。知識・技能の単なる伝達者にとどまらず、「一人一人の主体的な学びを見守り、声をかけ、誘い、励ます……そんなイメージでしょうか。」



福岡女学院中学校
福岡女学院高等学校
校長 重枝 一郎

教師は、生徒に寄り添うことに多くの時間を割いています。多様な個性をもち、成長に伴ってその個性を多岐にわたって伸長していく生徒一人一人に卒業までしっかりと「伴走」していきます。「令和の先生」が、「伴走者」であることと併せてもう一つ求められるのが「学びのモデル」なることと言われています。中教審後に示された「教師の在り方特別部会」において「主体的に学び続ける教師の姿は、児童生徒にとっても重要なロールモデル」であることが求められています。その教師の姿を生徒に波及させてほしいということです。「学びのモデル」になるために、私たち教師は強い輝きを放ち、その光で生徒をキラキラ輝かせたいと思います。そして生徒自ら輝きを放つ存在になるように支援します。私たちは、「伴走者」であり「学びのモデル」でもある「令和の先生」を目指します。



新校舎に込める思い

中高の次世代を担う
みらいのカタチ委員会

校舎が新しくなることで、授業や学校生活の様子が進みます。「未来の女学院」を思い描きながら新校舎プロジェクトを推進するチーム「みらいのカタチ委員会」のメンバーを紹介します。

西村圭史先生：数学「ホームルーム(教室)は生徒が最も長い時間を過ごす場所です。授業の多くもこのホームルームでおこなわれます。新しい教室は、生徒にとって学習に集中できる空間にしたいですね。」

荒牧清香先生(1997年度卒業生)：音楽「毎朝の礼拝はいつまでも変わらない女学院の日常風景です。また、近年は『はないちプロジェクト』やアクティブラーニング授業など新しい取り組みも始まっています。伝統を継承しつつ新しいことにチャレンジしている後輩たちの学びを支える校舎にしたいです。」

小柳彩子先生：国語「ホームルーム棟は、授業はもちろん、生徒のさまざまな日常生活に使われます。最新の換気システムや手洗いコーナーの設置、トイレに至るまで気配りの行き届いたものを目指しています。」



左から 西村先生、荒牧先生、小柳先生、川島先生

みらいのカタチ委員長 美術科 川島源次郎
1960年につくられた現在の校舎は60年以上経った今でもなぜかその古さが嫌じゃないんです。美術関係者や建築をやっている人たちは「カッコいい」とさえ言ってくれます。それは、学校の歴史や、普遍的なキリスト教主義の教育観がこの建築と合っているからだと思います。当時の人たちが、しっかりデザインして「いい建築」をつくってくれたおかげです。新しく生まれ変わる校舎は、大きく変化する学校教育に対応するために最新の学習環境でなければならぬし、現代的な機能や設備がそろっていないわけがありません。また、これからも広がる多様な価値観に、考えられるだけの答えを用意して、次の人ことを考えてつくりなければならぬと思います。同時に、いつまでも美しく、みんなに愛されるひとつの風景になってほしいと願っています。



トイレ



アクティブラーニング



教室



支部長会開催

2022年5月21日 新しくなった向山寮にて支部長会を開催いたしました。
各支部の課題や役員会からの支援の方法などについて話し合い、より良い同窓会活動の在り方について意見が交わされました。短い時間ではありましたが有意義な会になりました。



支部だより

北九州支部

みなさまいかがお過ごしですか
北九州支部はコロナで3年間活動もままならない状況でしたが今年と同窓会を開催する予定で準備しておりましたがコロナの影響で中止となりました。
来年こそ皆様にお会いしてご挨拶できることを願っております。
北九州支部 齋藤まゆみ

大分支部

皆様、お変わりありませんか？ 大分支部は今年もコロナの影響で総会を開く事が出来ませんでした。三回目の中止です。残念です。近頃はワクチンとの追いかっこのように次々と波がやって来ます。一日も早く収まって前のように皆様とおしゃべりが出来るようになりたいと願っております。
私事で恐縮ですが、私腰を痛めて動くのが辛くなって来ています。どなたか支部のお世話をして下さる方をさがしています。よろしく願いいたします。

大分支部 安浪敬子

筑後南支部

皆様におかれましては、お健やかに過ごしの事と存じます。昨年は、支部総会を開催できず申し訳なく思っております。今回は、私が、四十一年前に、大牟田の支部総会に、初めて参加させてもらいポジティブな気持ちになれた事をお話します。その時、上の娘が三才四ヶ月、下の子達が双子で一才二ヶ月でした。上の子を同居の母にお守りしてもらいながら、よちよち歩きの二人をやっとの思いで育てていたように思います。支部会当日は、初めての子供との参加でもあり、とても緊張していました。しかし、ドアを開けたとたん楽しそうな笑い声が聞こえ自然に会の中には入られて、ホッとしました。支部会は讚美歌から始まり、厳かな中にも和やかに、皆様方の輪の中に入れた事が嬉しく、ポジティブな気持ちで家に帰った事を忘れる事はありません。毎年の参加を楽しみにしていきうちに、私も會員の皆様にホッといただける場所を作れたらと思うようになりました。本当に微力ですが恩返しと思ひ努力していきますので、ご参加いただけますようお願いいたします。

筑後南支部 安藤恭子

関東支部

『年老いてなお未来を見る』
誰もが、老いの現実を決して甘くなく病との生活との戦いはとても厳しいものです。でも、もっと知りたい好奇心は 何歳になっても持ち続けられます。若い世代に学ぶ事も多く、世代のキャッチボールを愉しみに過ごしてみませんか？
昨年関東支部ではホームページがリニューアルしました。これからは色々な情報を載せて参ります。是非ご覧ください。またクリスマス拝祈の動画を3月末まで配信しています。祈りの時を皆様と一緒に過ごせれば幸いです。

関東支部 諸江陽子

関西支部…現在活動を休止しております

鹿児島支部…現在活動を休止しております

中部支部

皆様、如何お過ごしでしょうか。
約60年間、学舎として用いられた中高校舎が建て替わる事になり、これを機に母校の教育環境充実のための『かがやく応援募金』が始まりました。
ICT環境の設備等、時代が求める教育に対応するための一歩を、同窓生としてお支え頂きたく、ご寄付をよろしくお願い致します。
徳永徹先生がフィルムケースを携え、500円貯金募金行脚で名古屋にいらして下さった事を思い出しますね。

中部支部 平田輝子

熊本支部

初参加の方やお久しぶりの方もご出席予定の熊本支部総会でしたが、今年度も中止となりましたこと深くお詫び申し上げます。心温まるお手紙、お電話をありがとうございました。
皆さまが静かな時を持ち、心穏やかに過ごせますようお祈りいたします。

熊本支部 三浦美波里

長崎支部

長崎支部はこのコロナ禍で活動は残念ながら何もできておりません。来年は感染も終息していることを願うばかりです。
できるなら来年こそは開催できたらと考えています。
その際は是非ご参加お待ちしております！

長崎支部 納所季代子

広島支部

懐かしい女学院の皆様、お元気でいらっしゃいますか。
まだ続くコロナ禍で罹患された方もいらっしゃることを思いますとき、心よりお見舞い申し上げます。
皆様にお会いしたい思いいっぱいでしたが、今年も願いが叶わず、とても残念です。
この度、広島市佐伯区の豊かな自然に囲まれた湯来地区に、先輩の島崎礼子さん(1961高・1962専卒)ご夫婦が創立されました「湯来保養園」を訪問しました。大自然を一望できる高台に建つ保養園は地域のお年寄りの方々の語らいの場で、いこいの場所です。利用者さんの笑顔と一緒にいただいたお昼ごはんのおいしかったこと。スタッフの方達の心のごもったケアに、ありがとうございますとの思いになり、温かい気持ちになりました。高齢化社会の今日、私もいつか来る道(もうきてますが)です。世の中の社会資源を、上手に利用させていただき楽しく過ごす時間があたらうらしいなあと感じながら、保養園を後にしました。施設のまわりの赤く染まった木々の美しさが今日も目に浮かびます。広島にお越しいただき、皆様と会える日が来る事を楽しみにしています。



島崎 礼子さん

広島支部 松田恵美子



授業のほか、予習・復習に欠かせないタブレットを保護するカバーは、生徒たちの必需品。同窓会も新時代のICT教育を応援してまいります。



スマートフォンのアプリから、ナプキンが無料で提供されるOiTr(オイテル)のサービスは学生に大好評です。

2022年4月「コロナ緊急支援」として、中高にタブレットカバーを贈りました。夏の制服をイメージした鮮やかな水色で、校章の刻印も入っています。ICT教育が本格化し、現在生徒たちにはタブレットが一人一台支給されています。



2022年7月大学12か所の個室トイレに「OiTr(オイテル)」のサービスが開始。同窓会からの寄付金で設置費用がまかなわれました。これは学校や公共の施設の個室トイレに生用ナプキンを常備し無料で提供するもので、経済格差やジェンダーギャップという社会課題の是正にも寄与する価値ある取り組みです。

同窓会から学生・生徒へエール!



クリスマス礼拝の様子

クリスマス会

2022年12月17日同窓会主催のクリスマス会を開催いたしました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、皆様にお集まりいただく会は全て中止、延期になっていましたが、感染対策を行いながら久々に楽しい会を開催することができました。

当日はギール記念講堂で礼拝を行い、その後短い時間でしたが祝会へと進みました。出席いただきました先生方や同窓生の笑顔を拝見して母校に集うことの大切さを感じ、今後もこのような会を沢山開催することができるよう同窓会の活動を活発にしてい

こうと役員一同思いを新たにいたしました。

当日ご出席いただきました先生方、同窓生の皆様ありがとうございました。また開催に際してご協力いただきました学院関係者の皆様に感謝申し上げます。

礼拝後、中学校高等学校校長重枝先生より生徒の活躍についてまた今後の教育方針についてお話を伺いました。

みらいのカタチ委員会委員長川島先生からは中高校舎建て替えについてご説明いただきました。



教養講座 グレープ・ガーデン

報告
第27回

「アクティブカラー・色で知る 自分の心」

日時 2022年11月22日(土) 講師 吉原 峰子さん(1964(S39)年高卒)

色彩心理や各種カラーセラピーを学んで、「アクティブ・カラーセラピー」を開発された吉原さん。テーマに沿って、12色から色を選んでみると、皆さん選んだ色は違います。セラピーを通して、「自分らしさ」「ありのままの自分」は色が教えてくれる、新たな気づきを知ることができました。

3年ぶりにグレープガーデンが開催できましたことに感謝いたします。吉原さん、参加者の皆さんありがとうございました。



ココアとクッキーの会♪



学生たちも
手伝ってくれました!



学長室との
地域清掃活動も
続けています!



Alumnae, University and Junior College Subcommittee

短大・大学部会

～継続は力なり～

短大・大学部会 部会長 川波 美子
(1984(S59)年短大卒)

12月の寒いある日、短大・大学部会は同窓会集會室でサポーターの皆さんが学生たちに温かいココアとクッキーをふるまいました。名付けて「ココアとクッキーの会」。クリスマスのデコレーションで彩られた集會室は、写真を撮ったり、好きなクッキーを選んだりする学生たちでにぎわいました。

でも一番楽しんだのは同窓会サポーターかもしれません。「後輩たちに喜んでもらえて、嬉しい!」。みんなが笑顔でいっぱいになるような活動をこの先も続けてまいります。

大学と連携すること、在学生をサポートすること、卒業生をつなぐこと・そんな小さなひとつひとつから「継続は力なり」を実感しています。これからも短大・大学部会をよろしく願います。

ここで短大・大学の卒業生の皆さまにお願いです。Miiit+(ミータス)会員アプリにぜひご登録ください! 毎月の「部会だより」で短大・大学の「今」をお届けしています。

▼ 詳しくはこちら

<https://miitus.jp/t/Fukujo/>



Alumnae, Nursing University Subcommittee

看護大学部会

～オリーブ物語～

看護大学部会 部会長 上野 都花
(2012(H24)年看卒)

片野光男学長が就任された2015年度、看護大学に2本のオリーブの木が植えられ、今では7種類約200本のオリーブの木々が看護大学の学生たちを迎えています。

2022年10月に看護大学では3回目をむかえるオリーブ祭が開催されました。早朝は雨模様でしたが収穫時には気持ちの良い秋晴れとなり、教職員と学生一丸となって学内にあるオリーブからたくさんの実を収穫しました。

オリーブは自立により多くの花を咲かせ、



協同により多くの実を結ぶことができる植物です。看護大学の学生・教職員も自立と協同の素晴らしさを体感しながらオリーブと共に成長しています。

2022年度は去年の1.4倍にあたる106kg程のオリーブの実を収穫することができました。収穫したオリーブで本学オリジナルのオリーブオイルを作ります。きっと味わい深く美味しいオイルが出来上がることでしょ！そして、そのオリーブオイルが3月に卒業する卒業生への贈り物となります。



音楽科卒業生会

音楽科卒業生会 代表 田口 三冬 (1983(S58)年音卒)

音楽科卒業生会では、今年度も7月に総会と演奏会を行いました。

2022年7月3日(日)健康づくりセンターあいれふの講堂において第25回総会を開催。昨年度の活動全てが承認され、今後についての闊達な意見交換がなされました。学院の現状や卒業生会の歩みに真摯にお心を寄せて頂き、感謝のひとつでした。

また、同月22日(金)あいれふホールでの卒業生演奏会には、阿久戸院長や野田幸子同窓会長をはじめ、120名ものお客様にご来場頂きました。

事情により、急遽代演者を立ててのプログラムもありましたが、突然の出演依頼を快諾下さったチェリスト田村朋弘さんに心より感謝申し上げます。大勢のお客様に戴いた温かな拍手を糧に、若い演奏家達が其々の道をしっかりと歩いていかれますよう、祈っております。



演奏会出演者



開演を待つ会場



チェロ
田村朋弘さん



高校音楽科60周年記念演奏会を開催します

高校音楽科は2023年度に開設60周年(1963年開設)を迎えます。これを記念し、下記の日程にて演奏会を開催いたします。第1部は音楽科在校生による演奏と合唱、第2部は坂本彩さん、坂本リサさんによる「Piano duo SAKAMOTO」にご出演いただきます。

彩さんは本校音楽科の卒業生でもあり、妹のリサさんと共に姉妹デュオとして国内外で活躍されています。

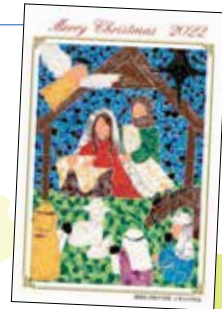
皆様お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

- 日時** 2023年5月26日(金) 18:30開演(21:00終了予定)
- 会場** FFGホール(福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店地下)
- 入場料** 一般 2,000円 / 学生 1,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
- チケット取扱い** チケットぴあ(Pコード:235-901) 3月上旬発売開始予定
- 問い合わせ先** 福岡女学院中学校・高等学校
TEL 092-575-2470(音楽科:新開) E-mail:mshinkai@fukujo.ac.jp



活動報告

- 1 同窓会総会
- 2 役員会
- 3 支部長会
- 4 学校部会支援
- 5 名簿管理
- 6 ホームページ・LINE・Facebook・Instagram管理
- 7 会報『ぶどう』発行
- 8 教養講座 グレープガーデン開催
- 9 85歳以上の会員へのクリスマスカード発送
- 10 同窓会主催クリスマス会開催
- 11 在校生支援



役員紹介

- | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>会長</p> <p>野田 幸子 (1979(S54)年高)</p> <p>副会長</p> <p>竹下由美子 (1972(S47)年短卒)</p> <p>稲原しのぶ (1979(S54)年高卒)</p> <p>津留崎幸代 (1982(S57)年高卒)</p> <p>財務部</p> <p>前田三枝子 (1966(S41)年高卒)</p> | <p>総務部</p> <p>城戸真由美 (2000(H12)年大卒)</p> <p>藤木智恵子 (1991(H3)年高、1993(H5)年短卒)</p> <p>会員部</p> <p>見城真由美 (1974(S49)年高、1976(S51)年短卒)</p> <p>富永 由美 (1990(H2)年短卒)</p> <p>広報部</p> <p>古賀真理子 (1993(H5)年高卒)</p> <p>牛島 惇子 (1966(S41)年音卒)</p> <p>山路絵理子 (1995(H7)年短卒)</p> | <p>監査</p> <p>青沼 佳子 (1967(S42)年高、1969(S44)年短卒)</p> <p>三船 則子 (1982(S57)年高卒)</p> <p>事務局</p> <p>村山かをる (1978(S53)年中卒)</p> <p>城取 祐子 (1996(H8)年短卒)</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



中学校・高等学校・同窓会入学特別選考のお知らせ

同窓会会員のお子様・お孫様・姉妹様の入学希望者につきましては、入学時にかかる費用の一部を奨学金として給付する制度があります。詳細は同窓会事務局にお問い合わせください。

逝去

つつしんで哀悼の意を表し、主による平安をお祈りいたします。

(敬称略)

2022.2.26 河崎 芳子(木下)1940(S15)女	2022.11.27 永富 礼子(荒川)1957(S32)高
2022.6.23 松下 康子(黒瀬)1940(S15)女	2022.7.22 山口 榮子(本松)1957(S32)専・1958(S33)専
2022.8.16 武居 ヨシ子(松本)1940(S15)女・1941(S16)専	2021.9.22 山田 宏子(江口)1958(S33)高
2022.3.23 真壁 喜實子(巖谷)1941(S16)女・1942(S17)専	2022.4.27 鶴田 弘子(古賀)1959(S34)高
2022.11.14 片山 芳子(片山)1941(S16)女	2022.11.17 井口 玲子(矢嶋)1959(S34)高
2020.2.21 前田 登美江(前田)1942(S17)女	2021.12.28 佐藤 壽子(馬場)1959(S34)高
2021.11.30 栗田 房子(金沢)1943(S18)女	2022.2.12 高橋 雅子(高橋)1960(S35)高
2022.2.6 赤司 寿美子(於保)1944(S19)女・1945(S20)専	2022.2.25 田中 高子(安武)1960(S35)高
2021.3.6 土肥 カツ(谷村)1945(S20)女	2022.6.27 梶村 順子(山田)1960(S35)高
2022.1.22 石井 克子(入江)1945(S20)女・1947(S22)専	不 明 中村 美代子(城取)1962(S37)高
2022.5.11 平山 明子(月小路)1952(S27)高	2022.9.20 海老澤 玲子(隈丸)1962(S37)高
2022.3.3 福本 美恵子(西村)1953(S28)高	2022.10.4 久木田 恵子(因幡)1965(S40)高・1967(S42)短
2014.3.31 坂口 順子(高山)1953(S28)高	2022.1.20 福嶋 順子(安東)1966(S41)音
2022.1.19 清水 照子(久我)1954(S29)高	2022.1.1 齋藤 弘美(齋藤)1967(S42)短
2021.1.10 中村 節子(山内)1955(S30)高	2022.6.8 中村 敦子(前田)1979(S54)高・1981(S56)短
2022.3.4 椿 績子(常岡)1955(S30)高	2020.11.12 石井 恵子(石井)1984(S59)高
2022.6.18 篠原 章子(安宅)1955(S30)高	2022.5.27 上谷 美樹(上谷)1990(H2)高
2022.7.26 馬場 敦子(馬場)1957(S32)高	

ご家族の了承を頂いた方のみ記載しております。

※()旧姓です。*卒年順です。
2023.1.6現在

新商品のご案内

福岡女学院 オリジナルマスキングテープ(全4色)

ぶどうや錨マーク入り
スケジュール帖やラッピングなど可愛くアレンジができます。
ギフトにも最適!この機会に是非ご購入ください。

福岡女学院内売店で販売予定

お問い合わせ

中高売店 092-575-2475 / 大学売店 092-575-5481 / 看護大学売店 092-942-4088
*郵送の際は、郵送費・振込手数料がかかります。



販売価格
1個 200円
(税込)
15mm幅×5m巻

福岡女学院同窓会会則

第一章 総則

- (名称所在地)
- 第1条 1 本会は福岡女学院同窓会と称する。
2 本会は本部及び事務局を福岡女学院百周年記念館内(福岡県福岡市南区日佐3丁目42番地1号)におく。
- (目的と理念)
- 第2条 本会は福岡女学院建学の精神に基づき、会員相互の連絡・交流および親睦を図るとともに、福岡女学院と連携を図りながら、母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は上記の目的の為に次の活動をおこなう。
(1) 会員名簿の管理
(2) 会報の発行
(3) 支部・学校部会への支援
(4) 同窓会事務局の管理・運営
(5) 本会の目的と学院の発展に必要な事業
- 第4条 本会は福岡女学院同窓会の会則に定められた会員によって作られた同窓会組織体であり、母校の建学の精神に則り、全体的視点に立った活動に努めなければならない。活動は公平性と透明性を大切に自主性を尊重して努めるものとする。

第二章 会員

- (会員)
- 第5条 本会は次に定める会員をもって構成する。
(1) 正会員 福岡女学院大学大学院
福岡女学院大学
福岡女学院看護大学
福岡女学院大学短期大学部
福岡女学院高等学校
福岡女学院中学校
及びこれ等の前身校のいずれかを卒業したもの。
本学院に原則として各学校の修業年限の1/2以上在学したもので、入会を希望し、会費を納めたもの。
(2) 準会員 本学院各校に在籍する生徒・学生は、準会員とする。

- (顧問)
- 第6条 本会は次の顧問をおく。
(1) 理事長
(2) 院長
(3) 学長、校長
(4) 役員会が推薦したもの
- (入会金・会費)
- 第7条 1 正会員・準会員は、入会の際、入会金を納めなければならない。
2 正会員は、規定の年会費を納めなければならない。
3 入会金及び年会費、徴収方法等は別に定める。

- (退会)
- 第8条 1 正会員は次のいずれかに該当するとき、本会を退会するものとする。
(1) 死亡したとき。
(2) 本人が希望し、本会が定める様式により同窓会宛に申し出をしたとき。
2 退会の際は、それまでに納めた入会金、会費は返却しないものとする。

第三章 役員及び役員会

- (役員)
- 第9条 本会は次の役員をおき、役員会を構成する。
(1) 会長1名
(2) 副会長4名以内
(3) 幹事30名以内

- (会長)
- 第10条 会長は本会を代表し、会務を行う。
- (副会長)
- 第11条 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代行する。
副会長が複数の時は、代行順位を定めるものとする。
- (幹事)
- 第12条 幹事は第14条に定める会務の任にあたる。
- (役員会)
- 第13条 1 役員会は必要に応じて会長がこれを招集し、議長は会長が指名する。
2 役員会は過半数の出席をもって成立する。
3 学院との連携を図るため、役員会に学院広報・校友課職員を陪席させることができる。
4 事務局員を陪席させることができる。
- (役員会務)
- 第14条 1 本会の役員は、会務の企画・立案及びこれの実行にあたる。
2 次の各部を設け、各役員が夫々担当する。
(1) 総務部(書記を含む)
(2) 会員部
(3) 広報部
(4) 財務部
3 役員会は必要に応じて、その他の部を設け、或いは廃止する事が出来る。
4 各部の役務は別に定める。
5 役員会は学院からの要請に応じて、学院の委員会に役員を出席させる。
- (任期)
- 第15条 1 役員の任期については次に定める。
(1) 会長1期(2年)再任は連続2期(4年)
(2) 副会長1期(2年)再任は連続3期(6年)
(3) 幹事1期(2年)再任は連続3期(6年)
2 役員の辞任、又は執務不能の場合には、選考委員会が後任者を選考し役員会で承認する。但し、選考された後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

第四章 支部・学校部会

- (支部)
- 第16条 1 現在ある支部以外で支部を設立する場合は、その地域の正会員の20%以上の申し出を必要とし、その申請書面を役員会に提出し、承認を得なければならない。
2 支部は、役員、休会等変更事項が生じた場合は、書面ですみやかに役員会に届け出る。
3 支部の閉会においては、支部会員全員に閉会を周知徹底し、書面で会計報告をした上で、役員会に閉会届けを提出し、承認を得なければならない。
- (支部役員)
- 第17条 4 支部は支部長1名、役員若干名を置き、支部会員相互の親睦を図るとともに、本会との連絡にあたる。
- (支部長会)
- 5 全支部は、その間の連絡や相互の情報交換、また本会との連絡の為に支部長会を設け、代表者1名を置く。
- (学校部会)
- 第17条 1 本会は以下の学校別の学校部会をおくことができる。
(1) 中学校・高等学校部会
(2) 短大・大学部会
(3) 看護大学部会
(4) 音楽科卒業生部会
2 各学校部会は学校部会長1名、役員若干名をおく。又、各学校部会には連絡部員をおき、会員相互の親睦と情報交換、また本会との連絡にあたる。

第五章 総会

- (招集)
- 第18条 1 定期総会は会長が招集し、原則として、毎年1回開かなければならない。
2 臨時総会は、役員会が必要と認めるとき、会長がこれを招集することができる。
- (決議)
- 第19条 1 総会の決議は出席会員の過半数をもって決する。
2 賛否同数の場合は議長が決する。
- (決定事項)
- 第20条 総会は次の事項を審議決定する。
(1) 役員・会計監査人の承認
(2) 会務の報告
(3) 会計報告
(4) 活動方針(案)の承認
(5) 予算(案)の承認
(6) 会則の改廃
(7) その他本会に関する重要事項

第六章 検討班

- (検討班)
- 第21条 本会は役員会内に次の検討班を設置することができる。検討班は、会長の諮問事項を検討の上、役員会に提案する。
(1) 資産検討班
(2) 会則検討班
(3) 役員会は特別の事項を検討する必要がある場合は、上記以外の検討班を設ける。

第七章 選考委員会

- (選考委員会)
- 第22条 本会は役員会とは別に、役員・会計監査人の推薦が必要となるために選考委員会を設ける。
1 選考委員会は次の学校部会(各1名以上)・支部長会(1名)・役員会(2名)を会員の中から選出し、8名を超えないものとする。
2 会長は本会の正会員の中から、選任する。福音主義のキリスト教に属する教員である事が望ましい。
3 会長、副会長は、役員会の推薦により、正会員のなかから、選考委員会が選出し、役員会で決定し、総会で承認する。
4 幹事、会計監査人は、会員の推薦により、正会員のなかから選考委員会が選出し、役員会で決定し、総会で承認する。
5 会長・副会長・幹事・会計監査人は学校部会・支部の各会員数と卒業年度等を考慮して広く選考する。
6 会員が幹事・会計監査人を推薦する場合、選考委員会宛に、書面推薦状を提出する。
7 選考委員は候補者になることができない。
8 選考委員会で選出した会長・副会長・幹事・会計監査人の各候補者を、役員会で決定し総会で承認する。
9 選考委員会は、細則を別に定める。

- (学院評議員)
- 第23条 1 本学院より学院評議員候補者の推薦の要請があった場合、本会は選考委員会にその候補者の選出を要請する。
2 選考委員会は正会員の中から候補者を選出し、役員会に報告し、学院長に推薦する。

第八章 学年委員

- (学年委員)
- 第24条 1 会員相互の円滑な連絡を図るために、卒業年次ごとに学年委員をおく。
2 学年委員の任期は2年とする。ただし再任は妨げない。
3 学年委員に変更があった場合、新・旧委員を速やかに本会に届出をする。

第九章 会計

- (年度)
- 第25条 本会の会計年度は、原則として毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第26条 本会の会計の収支決算および予算案は、毎年4月中に財務部が作成し、役員会に提案・討議の上、役員会で決定し、総会の承認を得る。
- (会計監査)
- 第27条 1 本会は役員とは別に会計監査人2名以上をおく。
2 会計監査人は各年度の会計を監査し、総会で報告する。
3 会計監査報告書の作成をする。
4 会計監査人の任期は2年とする。

第十章 同窓会職員

- (同窓会職員)
- 第28条 1 本会に専任の職員及び臨時雇用職員をおく。専任及び臨時雇用職員は、本会の一般事務、金銭の出納、同窓会事務局及び付随する施設の管理業務を行うこととする。
2 本会の専任及び臨時職員の任免、給与その他の待遇については、会長・副会長が検討の上、役員会に提案し、承認を得る。

付則

- 1 本会則実施に必要な細則は、すべて役員会においてこれを定めることができる。
2 専任職員及び臨時雇用職員の待遇については、就業規則、給与規則を別に定める。
3 付則の年次を整えるために西暦、和暦併記とする。
4 本会則は、2022(令和4)年5月22日より施行する。

- 1952(昭和27)年 6月15日制定
1966(昭和41)年 4月 1日一部改正
1970(昭和45)年 5月16日一部改正
1979(昭和54)年 7月21日一部改正
1993(平成 5)年 5月17日一部改正
1995(平成 7)年 5月17日一部改正
1996(平成 8)年 5月17日一部改正
2002(平成14)年 5月17日一部改正
2004(平成16)年 5月17日一部改正
2011(平成23)年 5月17日一部改正
2013(平成25)年 5月17日一部改正
2014(平成26)年 5月16日一部改正
2015(平成27)年 5月15日一部改正
2016(平成28)年 5月17日一部改正
2019(令和 元)年 5月19日一部改正
2020(令和 2)年 5月17日一部改正
2022(令和 4)年 5月22日一部改正

福岡女学院創立138周年記念

George Frideric Handel

Messiah

第40回クリスマスコンサート

あのメサイアが帰ってくる！



指揮
青木 洋也

コロナ禍のために、2020年より中止しておりました「メサイア」が4年ぶりに帰ってきます。
装いも新たに、リニューアルオープンしたアクロス福岡のシンフォニーホールで、
皆様のお越しをお待ちしております。

2023.12.22(金) 開場/18:00 開演/18:30

アクロス福岡 シンフォニーホール



合唱団員募集

受付期間 2023年7月1日(土)～31日(月)

※これまでに参加された方も、毎年のお申込みをお願いします。

申込内容 名前、住所、電話、声楽パート、卒業年度、メサイア経験の有無

申込方法 はがき、電話、ファックス、Eメール

申込先 〒811-1313 福岡市南区日佐3丁目42-1 福岡女学院キリスト教センター 宛
TEL:092-581-1492 FAX:092-575-2480 E-mail:messiah@fukujo.ac.jp

パート別練習は9～11月にかけて5回、
混声合唱は10～12月にかけて3回、
オケ合わせを本番前日に予定しています。

合唱指導者からのメッセージ



田中ちづる先生
1994(H6)年音卒

ついに今年の12月、「メサイア」が復活します！
コロナ禍の3年間、温存していたパワーを、歌うことで発散しませんか？
経験者はもちろん、初めての方も大歓迎です！夏から始まる合唱練習で丁寧な音取りを行います。どうぞ安心してご参加下さい。「楽器=体」をしっかり響かせ、共に賛美する喜びを味わいましょう！
1人でも多くの皆さまとお会いし、楽しい時間を共有できればと願っております。



大塚絢子先生
2002(H14)年音卒

合唱団員からのメッセージ



城戸真由美さん
2000(H12)年大卒

メサイアは、女学院で経験したい憧れの行事でした。国際的に活躍される指揮者の先生のご指導のもと、豪華なソリストとオーケストラに囲まれ、夢のように贅沢な時間を過ごせます。本番に向けて練習しながらクリスマスを迎える喜びも大きいです。言葉では語りつくせないこの感動を、一緒に味わってみませんか？



田久保富美子さん
1974(S49)年短卒

年末は福岡女学院の「メサイア」に参加するのが私の年中行事でした。それがここ3年は中止となりとても淋しい年の瀬を過ごしていました。2023年には再開するとの報を受け、とても嬉しく思っています。皆様とともに、豊かな時間を再び持てることを楽しみにしています。

●福岡女学院同窓会会報「ぶどう」第28号 2023

福岡女学院同窓会

〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐 3-42-1
TEL・FAX(092)575-2479

【URL】 <https://www1.fukujo.ac.jp/alumnae/>
【E-mail】 alumnae@fukujo.ac.jp



福岡女学院 同窓会

検索

■個人情報取扱いについて

2005年4月より、個人情報保護法が制定されました。個人情報を取り扱う同窓会事務局としましても、慎重に皆様の会員データを管理しております。懐かしいお友達へのご連絡など、事務局へ沢山のお問い合わせがございますが、必ずご本人様への確認をさせていただいた上でお答えしております。同窓会会員には同姓同名の方が多くいらっしゃいます。データ管理の間違いを防ぐために生年月日のご確認をさせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

住所・氏名変更、同窓会会費その他お問い合わせ、ご連絡は同窓会事務局へ（受付時間：月～金 午前10:00～12:00／午後13:00～17:00）